

修了生の活躍事例

理論と実践、能開大で両立する学び

能開大へ進学を決めたのは、モノづくりへの情熱と、効率的に専門知識と技術を得たいという思いからでした。在学中は、図面の読み方から製図、切削、測定に至るまで、モノづくりの一連の流れ実践的に学びました。実習を通じて、頭だけでなく体でも学べる環境が魅力的でした。特筆すべきは、専門知識だけでなく、社会人としての基本的なマナーや一般常識も身につけられたことです。中でも時間厳守の重要性は、今でも強く心に残っています。現在の職務では、能開大で培った測定技術や図面理解力が大いに役立っています。能開大での学びは、単なる技術習得にとどまらず、プロフェッショナルとしての基礎を築く貴重な機会となりました。この経験が、ミネベア アクセスソリューションズでの活躍につながっていると実感しています。

チームで創る、未来のモノづくり力

学生時代の印象深い経験として、6人チームでの総合製作実習があります。部品搬送装置の製作に取り組み、製図から加工、評価、組立まで役割を分担して進めました。この過程で装置の仕組みや汎用性について深く学べただけでなく、チームワークの重要性も実感。協力して課題を推進する喜びと困難を通じて、現在の仕事にも活かせる貴重な経験となりました。



就職先企業での活躍

谷口大毅さんの業務

現在、品質管理課で不具合品の調査・原因追及、対策立案、効果確認を担当し、発生抑止に尽力しています。さらに、過去の不具合情報を基に、4M（人・機械・材料・方法）の観点から未然防止策を講じ、工程内での不具合発生そのものの削減にも取り組んでいます。当社が製造する自動車部品の品質向上に貢献することが私の主な業務です。



ミネベア アクセスソリューションズ株式会社
製造部 品質管理課 品質1係

谷口 大毅さん (24)

九州職業能力開発大学校
専門課程 生産技術科

令和3年度 修了



チームの力で、次世代の品質を支える人になりたい

私の目標は、能開大で培った専門知識と現職での実践的経験を活かし、品質管理のエキスパートとして活躍することです。現在の不具合対策や未然防止の業務をさらに発展させ、学生時代のチーム製作で得たコラボレーションスキルを生かして、より効果的な品質改善プロセスを構築したいと考えています。また、当社のグローバル展開の中で、将来的には海外拠点の品質管理業務にも携わりたいと思っています。

上司からの声（品質管理課 肝付さん）

谷口さんは何事も自らの意思で行動できる人財です。品質業務の推進で、自ら課題を設定し、解決に向けた行動力が高いと感じます。業務推進に必要なのは、自責で考え行動すること。これは数値化できませんが、実際に行動できる人材は少ないと思います。谷口さんは行動で物事を動かせる人財だと今後の活躍に期待しています。



ミネベア アクセスソリューションズ株式会社（宮崎県宮崎市） 現在、九州職業能力開発大学校の修了生 14名 が活躍中！

ミネベア アクセスソリューションズ株式会社は1962年に本田技研工業の創設者、本田宗一郎氏による創業以来、Tire1メーカーとして車やバイクのキー、ドアミラー、ドアハンドル等の研究・開発から製造までを一貫して行い、完成車メーカーへ供給しております。宮崎本社や栃木R&Dセンターを核として、7,000人を超える従業員が世界8か国で活躍しています。

【製品例】ドアミラー、ドアハンドル 等（主な取引先：本田技研工業(株) 他）

